

令和6年度

さいたま市立岩槻中学校だより

5月号 (令和6年4月26日発行)



槻の若木

〒339-0054 岩槻区仲町1-14-35

電話：048-756-0254

FAX：048-758-7483

HP：<http://iwatsuki-j.saitama-city.ed.jp>

Mall：iwatsuki-j@saitama-city.ed.jp



岩槻区の花 やまぶき

「やまぶきの花とともに 岩中の熱い学校生活のスタートです。」

校長 金子 ^{たかし} 宜史

1年生は、入学して3週間余り、新しい環境の中で、部活動の仮入部等も行いながら、よく頑張っていました。ある日の登校時、1年生に声を掛けると、「仮入部に参加して、全身筋肉痛です！」と笑顔で答えてくれた生徒、よいスタートが切れたようです。すっかり岩中生になってくれ、大変うれしい気持ちになりました。1年生に限らず、この時期は、大人も子どもも少々疲れも出てくる頃です。ご家庭でも、健康管理に十分気をつけていただけるようお願いいたします。また、連休になりますが、交通事故、SNSの使い方、規則正しい生活にも十分ご注意願います。

さて、正門を入ると、やまぶきのやわらかで、落ち着きある黄色の花が、私たちの目や心を楽しませてくれています。日本の春は、梅に始まり、やまぶきで終わる、と言われるように、花が散る頃に輝かしい夏が到来します。立夏もまもなくですが、岩槻中は、5月2日(木)に第78回の体育祭が開催されます。いよいよ、岩中生の情熱あふれる学校生活が始まります。行事では「生徒総会」「中間テスト」「学校総合体育大会」「修学旅行」「未来くるワーク体験」等も行われます。3年生にとっては、体育祭をはじめ、大会や修学旅行等は、思い出深い中学校生活最後の行事となりますが、体育祭の全体練習では、3年生の体育委員を中心にまとまりのある演技を見せてくれました。心構えもしっかり整っているようです。令和6年度岩槻中学校体育祭スローガンは「気炎万丈」です。当日、生徒たちの高々と燃えあがる情熱を、保護者・地域の皆様方も、熱く応援していただければと思います。運営にご協力いただきますPTA役員の皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。また、練習から体育祭当日まで地域の皆様には、ご迷惑をお掛けしておりますが、ご理解とご協力を引き続きお願い申し上げます。

※「やまぶきの里伝説」岩槻にゆかりある太田道灌は、室町時代の終わりから戦国時代初めにかけて活躍した名将で教養人です。

ある日、鷹狩り中に急な雨に遭った道灌が蓑を借りようと、一軒の農家に立ち寄りしました。その時、中から出てきた少女は何も言わずに一枝のやまぶきを差し出しました。道灌はこれに腹を立て、立ち去りました。しかし、後に家来から、少女が「七重(ななえ)八重(やえ)花(はな)は咲どもやまぶきの実のひとつだになきぞ悲なしき」という古歌を引用し、「実の」と「蓑」をかけて、「蓑」が無いことをお詫びする気持ちを込めてやまぶきの花を差し出したことを教えられました。以降、道灌は和歌の勉強に一層励んだそうです。

※やまぶきは、岩槻区の花です。本校正門付近のやまぶきは、松戸政世史元校長先生から寄贈していただいたものです。